

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立三郷北高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が明確に示されている学校像である。学校に寄せられる期待などをより広く把握・分析し、更にステップアップした具体的かつ魅力ある学校像にしていきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえた重点目標が設定されている。やや網羅的な目標となっているので、学校内外の環境分析などを踏まえ課題を抽出し、中期的な視点から、更に重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年・教科のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。中間評価の実施による進捗状況の把握や学校関係者の意見の活用など学校自己評価システムが組織的かつ適切に運営されており、優れた取組となっている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体のシートに基づいた方策が分掌・学年・教科で策定され、組織的に実施されている。評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されている。定性的指標も設定するなど、多角的な視点から成果や効果を検証することで方策の妥当性について継続的に見直していただきたい。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	評価運営委員会・企画委員会、職員会議において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。校長のリーダーシップが的確に発揮され、分掌・学年・教科などが目標の達成に向けて教育活動に取り組んでおり、教職員全体で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かすなど適切にPDCAサイクルを回している。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるよう各種アンケートの工夫を進め、更にその結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていきたい。	
特記事項			